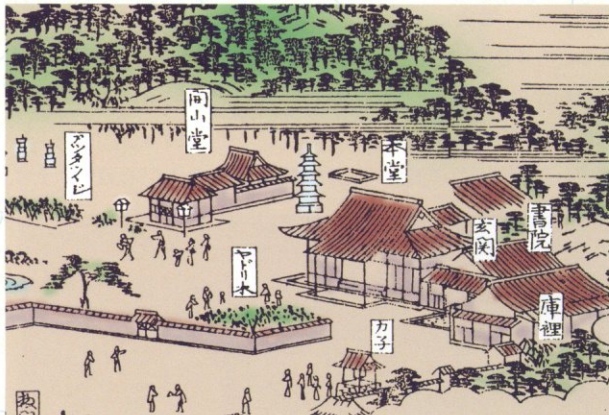


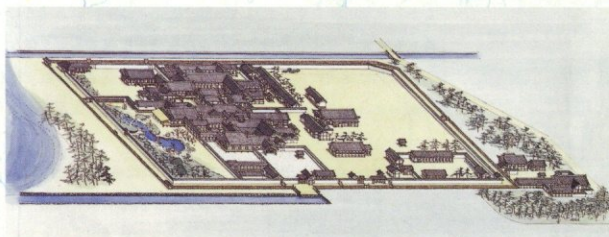
## 東海市の万歳の由来

東海市には尾張万歳と三河万歳の流れをくむ万歳が伝承されています。尾張万歳は鎌倉時代後期に現在の名古屋市東区矢田町にある長母寺の無住国師が、寺男（寺で雑役をする人）の親子に、仏教が我が国に伝来し広まっていった様子を教えました。親子はこれに節を付け、門付という形で村々をまわり、当時長母寺領であった現在の東海市や知多市に伝わったといわれています。



長母寺「尾張名所図会」より(加色)

一方、三河万歳は、尾張二代藩主徳川光友が現在の東海市高横須賀町に横須賀御殿（臨江亭・御洲浜）を造営した際、三河の内村（現在の安城市）から移住してきた多くの陰陽師により伝えられたといわれています。



横須賀御殿（臨江亭）

## 東海市万歳保存会の歩み

- 昭和39年 横須賀万歳保存会を結成し、保存活動を開始
- 昭和44年 東海市市制施行に伴い東海市万歳保存会に改名  
御殿万歳が市無形民俗文化財に指定
- 平成9年 市のスタディーサークル制度で小学生に御殿万歳を指導（子ども御殿万歳・3年間実施）
- 平成12年～市立加木屋小学校で「御殿万歳クラブ」結成に伴い、小学生に御殿万歳の指導を開始
- ・加木屋市民館にて、東海市子ども御殿万歳教室を開催



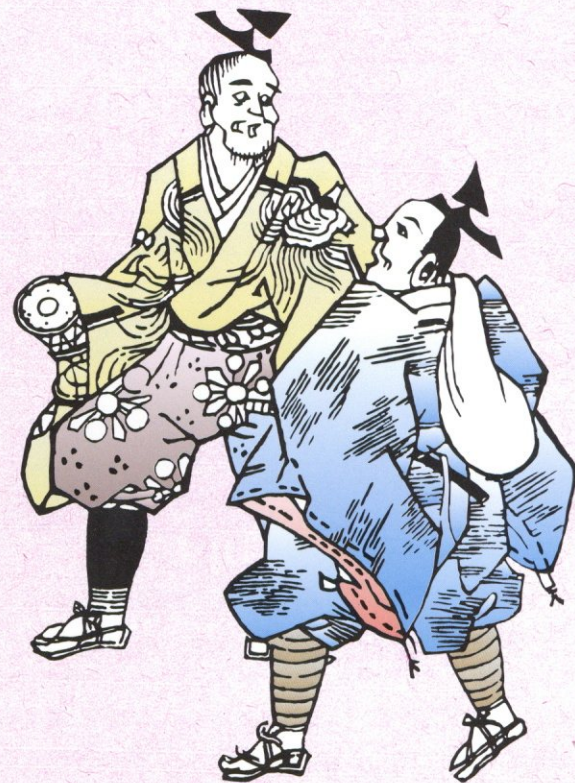
子ども御殿万歳

### 主な出演実績

- 昭和46年～名古屋御園座の正月初日公演に初舞い（継続中）
- 平成元年 名古屋デザイン博覧会で「御殿万歳」を上演
- 平成5年 愛知の文化・ふるさとの芸能祭り（愛知県芸術劇場大ホール）で「御殿万歳」を上演
- 平成6年 東西古典万歳大会（愛知県芸術劇場大ホール）で、三曲万歳の「曾我の夜討」を上演
- 平成11年 ふるさとの忠臣蔵（愛知県芸術劇場大ホール）で、三曲万歳の「忠臣蔵三段目」を上演
- 平成14年 万歳保存会結成30周年記念公演会開催（東海市立文化センター）
- 平成17年 万歳保存会結成35周年記念公演開催（東海市立文化センター）

### 東海市教育委員会 東海市万歳保存会

〒476-8601 愛知県東海市中央町一丁目1番地  
電話 (052) 603-2211  
(0562) 33-1111



「人倫訓蒙図彙」より(加色)

愛知県東海市指定無形民俗文化財

ご て ん ま ん ざ い  
御殿万歳

# 東海市に伝わる万歳

## ごてんまんざい 御殿万歳

東海市指定無形民俗文化財



一人の太夫と四人または、六人の才蔵が扇を開いたように並んで、七福神を滑稽に演じる万歳です。

その内容は、「陰陽。鶴は千年、亀は万年…」から始まり、家を建てる時の役柱一本一本に神様をお迎えして家を造り、正月の飾り物を置いて御門を開いたところへ、七福神が舞込むという目出度いものです。

江戸時代には、正月に、万歳の鼓の音を合図に目出度く門を開くことを恒例にした大名屋敷も多くあったといわれています。

今でも、名古屋・御園座の正月初日公演は、この御殿万歳で幕開けされています。



東海市は万歳を伝承する地域の一つとして知られており、市指定無形民俗文化財である「御殿万歳」をはじめ、「門付万歳」「三曲万歳」が保存・伝承されています。

## かどつけまんざい 門付万歳



えぼし すおふ  
鳥帽子、素襖

で扇子を持った太夫と、大黒頭、たっつけ巾、小袖、裁箸のいでたちに鼓を持った才蔵が、祝いことばを唱えながら各家々を回る万歳です。知多地方の農閑出稼ぎの一

つとして昭和の初期までは非常に盛んで、年末には現在のJR大府駅から万歳列車が仕立てられ、関東、関西方面等に出かけました。

毎年同じ土地を回ることにより、ひいき筋ができ、それが旦那場（お得意先）となり一層つながりを持つようになりました。



じんりんきんぼうすい  
「人倫訓蒙図彙」より（加色）

## さんきょくまんざい 三曲万歳

鼓・胡弓・三味線を使う万歳で、歌舞伎や浄瑠璃の名場面などをおもしろおかしく演じる「芝居万歳」と、着流しで謎解きなどをする「立ち万歳」の二種類があります。



前列左から、ツケ打ち、胡弓、鼓  
後列は三味線

尾張地方で発祥した万歳で、江戸時代中期頃から受け継がれているといわれています。



東海市万歳保存会は、「芝居万歳」を得意としており、その外題は、仮名手本忠臣蔵三段目、曾我の夜討、神霊矢口の渡し、朝顔日記などを演じます。

「立ち万歳」については、昭和になってからこの万歳を基に、たまごやえんたつすながわすてまる玉子屋円辰や砂川捨丸らにより、現在テレビなどでもおなじみのボケとツッコミの漫才が考案されました。

